

検索

いわき労働基準協会

◎リンクはPCから開けます(スマホやタブレットでは開けない場合があります)

◎印刷・配布・転載は自由です  
署長室よりいわきAliosを望む(2025年1月撮影)

## 「危険予知(KY)活動の充実」を図りましょう

## 年頭のごあいさつ

いわき労働基準監督署長

今年も現場にお伺いします！

2023年(令和5年)新春にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、ここ数年来続いている死傷災害の増加傾向に歯止めをかけることができませんでした。死亡災害が5件発生しているほか、死傷災害の増加率が実に30%を超えており、**昨年を上回る深刻な状況となっています。**

これらの災害発生状況を見ますと、特に**製造業におけるはさまれ・巻き込まれ災害、建設業における三大災害、また第三次産業における転倒災害**が目立っており、同一の企業が繰り返し災害を発生させた事例も見られました。

さらに災害発生原因を見ると、安全衛生管理の不備によるもの、職場における**危険予知(KY)やリスクアセスメント等の安全活動が不十分であるもの**、また労働安全衛生法令違反に該当する**違法な作業が看過されたもの**が認められ、誠に遺憾ながら、安全衛生水準が後退しているのではないかとこの危惧を持たざるを得ないのが現状です。

これらを踏まえ、本年は、現場指導や研修会等、安全管理活動の強化推進のための施策を積極的に講じることとしております。

特に、災害が発生した企業において、KY活動の省略、形骸化など取り組みが不十分である事例が目立つことから、本年は、「**KY活動の充実・活発化**」を呼びかけることといたしました。

つきましては、本年も署長パトロールを実施し、製造業や建設業の現場に対し、**KY活動の実施状況を詳しく点検**させていただくとともに、小売業などの第三次産業に対しては、**KY活動による転倒災害防止活動の取り組み**を積極的に行うよう呼びかけを行うことといたしました。

皆様におかれましては、年の初めのこの機会に、KY活動をはじめとした安全活動の充実にお取り組みいただき、この一年、労働災害ゼロを目指していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

KY活動の状況を点検



店舗パトロール

